



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月31日

上場会社名 株式会社 キング 上場取引所 東
 コード番号 8118 URL http://www.king-group.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長島 希吉
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理統轄 (氏名) 石井 修二 TEL 03-5434-7282
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	1,653	△33.9	△28	—	△5	—	△40	—
2020年3月期第1四半期	2,503	0.1	266	△24.0	299	△21.5	200	△22.3

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △78百万円 (—%) 2020年3月期第1四半期 188百万円 (△30.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△2.26	—
2020年3月期第1四半期	11.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	23,641	20,832	88.1
2020年3月期	24,351	21,164	86.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 20,832百万円 2020年3月期 21,164百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	14.00	14.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 2021年3月期の期末配当につきましては、現段階で業績予想が困難であることから、引き続き未定とさせていただきます。今後、予想が可能となった時点で、速やかに公表いたします。

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大が続いていることから、現段階では見通しが極めて不透明であるため引き続き未定としております。

今後、合理的な見積りが可能となった時点で、速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	24,771,561株	2020年3月期	24,771,561株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	6,716,108株	2020年3月期	6,716,108株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	18,055,453株	2020年3月期1Q	18,235,453株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大が続いていることから、現段階では見通しが極めて不透明であるため引き続き未定としております。

今後、合理的な見積りが可能となった時点で、速やかに公表いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、景気は急速な悪化が続いており、感染症拡大防止策として緊急事態宣言の発出に伴う外出自粛要請や営業自粛要請等によって企業収益は大きく低迷し、その解除後も、経済活動の回復に向けた動きがあるものの、景気の先行きは極めて不透明な状況が続いております。

当アパレル・ファッション事業におきましても、商業施設等の臨時休業や営業時間短縮、外出自粛による消費マインドの急激な冷え込みなど、非常に厳しい経営環境となりました。

このような環境のもと、当社グループでは、お客様にご満足いただける「強いものづくり」を変わらぬ基軸とし、「上質・プレミアム」に強くこだわり、付加価値の高い商品力を徹底追求し、高品質・高感度な商品づくりに引き続き注力すると共に、店頭運営力の更なる向上と生産管理機能の一層の強化を図り、新型コロナウイルス感染症による影響を最小限に抑えるべく、当社のパートナーショップに対する支援策の推進、収益性を重視した取引条件の見直し、販売費を中心とした諸経費の更なる削減等を実施してまいりました。

その結果、売上高は16億53百万円（前年同期比33.9%減少）、営業損失は28百万円（前年同期は営業利益2億66百万円）、経常損失は5百万円（前年同期は経常利益2億99百万円）となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は40百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益2億円）となりました。

事業セグメント別の状況は、以下のとおりであります。

(アパレル事業)

「強いものづくり」を変わらぬ基軸とした付加価値の高い商品力を徹底追求し、高品質・高感度な商品づくりに引き続き注力すると共に、当社のパートナーショップに対する支援策の推進、収益性を重視した取引条件の見直し、販売費を中心とした諸経費の更なる削減等を実施してまいりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大が続くなか、緊急事態宣言の発出によって個人消費は急激に冷え込み、売上高は13億4百万円（前年同期比35.6%減少）、営業損失は1億93百万円（前年同期は営業利益72百万円）となりました。

(テキスタイル事業)

テキスタイルのプロフェッショナルとして自己完結型ビジネススタイルの更なる進化を目指すと共に、既存主力先の深耕化、次期主力先の開発強化、次世代人材の育成に取り組むと共に、「ヴィンテージコレクション」を中心とした意匠力の強化や素材・加工方法の開発推進、提案力向上にも注力し、引き続き、企画提案型テキスタイルコンバーターとしての競争力の強化に努めました。

しかしながら、テキスタイル事業においても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によってアパレル業界全体が苦戦していることもあり、売上高は1億68百万円（前年同期比44.7%減少）、営業利益は12百万円（前年同期比70.7%減少）となりました。

(エステート事業)

東京・京都・大阪の各不動産に係る賃貸事業につきましては、引き続き資産の有効活用に努めました結果、売上高は1億80百万円（前年同期比4.6%増加）、営業利益は1億53百万円（前年同期比5.8%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は236億41百万円となり、前連結会計年度末比7億9百万円の減少となりました。

流動資産は126億81百万円となり、前連結会計年度末比6億16百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金の減少によるものであります。また、固定資産は109億60百万円となり、前連結会計年度末比93百万円減少いたしました。これは主に、有形固定資産及び投資有価証券の減少によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は28億8百万円となり、前連結会計年度末比3億78百万円の減少となりました。

流動負債の残高は16億75百万円となり、前連結会計年度末比3億71百万円減少いたしました。これは主に、未払法人税等及び賞与引当金の減少によるものであります。また、固定負債は11億33百万円となり、前連結会計年度末比6百万円減少いたしました。これは主に、預り保証金の減少によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は208億32百万円となり、前連結会計年度末比3億31百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金の減少によるものであります。

なお、自己資本比率は、88.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、新型コロナウイルス感染症が連結業績に与える影響を合理的に算定することが極めて困難なことから、2021年3月期の連結業績予想については引き続き未定としています。今後、状況が収束し合理的な見積りが可能となった時点で、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,514	9,632
受取手形及び売掛金	885	990
商品	1,741	1,865
原材料及び貯蔵品	41	27
その他	120	172
貸倒引当金	△5	△6
流動資産合計	13,298	12,681
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,880	1,845
土地	6,480	6,480
その他(純額)	255	243
有形固定資産合計	8,616	8,569
無形固定資産	304	281
投資その他の資産		
投資有価証券	1,209	1,155
長期貸付金	4	3
繰延税金資産	106	144
差入保証金	585	581
その他	243	244
貸倒引当金	△16	△19
投資その他の資産合計	2,132	2,109
固定資産合計	11,053	10,960
資産合計	24,351	23,641

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	773	728
短期借入金	380	380
未払法人税等	186	22
賞与引当金	188	70
役員賞与引当金	18	4
その他	500	469
流動負債合計	2,046	1,675
固定負債		
長期借入金	50	50
退職給付に係る負債	175	178
資産除去債務	127	126
長期未払金	167	167
その他	619	612
固定負債合計	1,140	1,133
負債合計	3,187	2,808
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,346	2,346
資本剰余金	8,127	8,127
利益剰余金	12,703	12,410
自己株式	△2,244	△2,244
株主資本合計	20,932	20,638
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	232	194
退職給付に係る調整累計額	0	0
その他の包括利益累計額合計	232	194
純資産合計	21,164	20,832
負債純資産合計	24,351	23,641

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	2,503	1,653
売上原価	1,077	791
売上総利益	1,425	862
販売費及び一般管理費	1,159	890
営業利益又は営業損失(△)	266	△28
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	22	19
貸倒引当金戻入額	0	0
その他	8	5
営業外収益合計	33	27
営業外費用		
支払利息	0	0
貸倒引当金繰入額	—	2
その他	0	0
営業外費用合計	1	3
経常利益又は経常損失(△)	299	△5
特別損失		
固定資産除却損	0	1
臨時休業等による損失	—	47
特別損失合計	0	48
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	298	△54
法人税、住民税及び事業税	23	8
法人税等調整額	74	△21
法人税等合計	97	△13
四半期純利益又は四半期純損失(△)	200	△40
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	200	△40
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11	△37
退職給付に係る調整額	△0	△0
その他の包括利益合計	△12	△37
四半期包括利益	188	△78
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	188	△78
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期連結会計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年5月7日 取締役会	普通株式	364	20	2019年3月31日	2019年6月10日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の
末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年5月11日 取締役会	普通株式	252	14	2020年3月31日	2020年6月8日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の
末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する仮定について
重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表計上額 (注) 2
	アパレル事業	テキスタイル 事業	エステート 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,025	305	172	2,503	—	2,503
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	6	14	—	21	△21	—
計	2,032	319	172	2,525	△21	2,503
セグメント利益	72	44	145	261	4	266

(注) 1. セグメント利益の調整額4百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用4百万円が含まれております。

尚、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表計上額 (注) 2
	アパレル事業	テキスタイル 事業	エステート 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	1,304	168	180	1,653	—	1,653
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	5	9	—	15	△15	—
計	1,310	178	180	1,669	△15	1,653
セグメント利益又は損失 (△)	△193	12	153	△27	△1	△28

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1百万円が含まれております。

尚、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失と調整を行っております。